



Web 用語集 利用マニュアル

(日本障害者歯科学会)

1. Web 用語集の特徴

本用語集は、障害者歯科領域における専門用語や略語を、日本語・英語・読み仮名・同義語・解説付きで検索・閲覧できる Web システムです。
会員・医療関係者・学生・一般の方まで、幅広くご利用いただけます。

2. アクセス方法

- 学会公式サイト(<https://www.jsdh.jp/>)から「Web 用語集」へリンク
-

3. 画面構成と基本機能

項目	説明
用語検索	日本語・ひらがな・英語(部分一致可)で検索可能
略語検索	略語(例:ASD)から検索可能
検索結果	該当する用語の「読み」「英語」「同義語」「解説」などを表示

4. 検索の使い方

4.1 用語検索

1. トップ画面で「用語検索」タブを選択
2. 検索ボックスにキーワードを入力(例:「弱視」など)

3. スペース区切りで AND 検索が可能(例:「弱視 医学」)

4. 結果一覧から該当用語をクリックすると詳細が展開表示されます

表示される情報:

- 読み仮名

- 英語(フルスペル)
 - 同義語・類義語
 - 解説(例:医学的弱視の特徴)
-

4.2 略語検索

1. 「略語検索」タブを選択
2. 略語を入力(例:「ASD」)



日本障害者歯科学会

Web用語集

用語検索 略語検索

ASD

ASD 自閉スペクトラム症 >

ASD 心房中隔欠損 >

3. 候補一覧から選択すると、詳細が表示されます



用語検索 略語検索

ASD

ASD 自閉スペクトラム症

フルスペル autism spectrum disorder

同義語・類義語

解説

診断基準は、①社会的コミュニケーションおよび相互関係における持続的障害、②制限された反復する様式の行動、興味、活動の2領域に症状を集約している。また臨床上の特徴として、知覚過敏性・鈍感性といった知覚異常を認めることがある。生まれつきの脳の機能障害が原因であり、ストレスや理解できない刺激でパニックが生じ、手や顎、口腔内への自傷行為を起こす。口腔所見は、歯齦から二次的に歯列や咬合の異常がみられることがあり、自傷行為として、自分の爪で肉を傷つけたり、自己抜歯したりすることもある。食行動の問題として、味、におい、触覚、見た目などにより偏食がしばしばみられる。有病率は1%以上で、女性より男性に4倍多い。

5. 活用例

-  医療従事者:診療ガイドラインや学会発表資料の用語確認に
-  学生・研修医:専門用語の学習や試験対策に
-  学会事務局:用語の統一・資料作成時の参照に

-  国際対応: 英語表記や略語の確認に便利
-

6. 注意点

- 検索は部分一致で行われます(完全一致ではありません)
 - 「用語検索」と「略語検索」は別タブで、それぞれ独立した検索結果が表示されます
 - 初期状態では検索結果はアコーディオン形式で閉じています(クリックで展開)
-

7. お問い合わせ

本システムに関するご質問・不具合報告は、学会事務局(jsdh@kokuhoken.or.jp)までご連絡ください。